

8月12日　の海外相場								
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)
	Open	4,410.6		65.945		1,767.9		1,389.5
	High	4,461.2		66.685		1,788.6		1,407.5
	Low	4,383.3		64.470		1,743.0		1,360.0
	Settlement	4,408.2		64.935		1,754.9		1,369.9
	Change	21.1		-0.337		1.3		-11.5
EFP		\$58.00	\$60.00	¢ 10.00	¢ 20.00	\$5.00	\$15.00	-\$5.00　\$5.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)		
		AM
	Gold	4,413.20
	Silver	66.250
	Platinum	1,759.00
	Palladium	1,374.15
		PM
		4,426.65
		-
		1,775.80
		1,384.25

コメント

Precious Metal

金：小幅上昇　銀：小幅上昇　プラチナ：小幅上昇　パラジウム：横ばい

金銀市場は小幅上昇した。7月米CPIが市場予想通りとなり、インフレ鈍化が確認されたことでFRBによる早期利上げへの警戒感が和らぎ、金には買いが優勢となった。金スポット価格は上昇基調を強め、一時1オンス＝4,400ドルを上回る水準まで上昇した。一方で、米長期金利が取引終盤に持ち直したことから上値では売りも入り、銀も金に連れる形で堅調に推移した。

プラチナ・パラジウム市場も堅調に推移した。米CPIを受けた早期利上げ観測の後退が貴金属セクター全体の支援材料となった。一方で、中東情勢を巡る不透明感や米金利の持ち直しが上値を抑え、積極的に上値を追う展開とはならなかった。市場では本日発表される米PPIを見極める姿勢が強まっている。

FX

ドル円：上昇　ユーロドル：下落

為替市場ではドル円が上昇した。7月米CPIが市場予想通りとなったことでFRBの早期利上げ観測が後退し、一時158.69円付近まで下落したものの、158.60円付近が下値支持として意識されると買い戻しが優勢となった。その後は米長期金利が上昇に転じたことや、中東情勢を巡る不透明感を背景としたドル買いも入り、一時159.54円と7月31日以来の高値まで上昇した。ユーロドルは下落した。米CPI発表直後は早期利上げ観測の後退を受けたドル売りから一時1.1563ドルまで上昇したものの、1.1560ドル台では上値の重さが意識された。その後は米長期金利の持ち直しとともにドル買いが優勢となり、一時1.1520ドルまで下落した。市場の関心は7月米PPIや小売売上高へ移っている。

ドル円：159.42　ユーロドル：1.1526

8月10日　週の経済指標一覧								
08/10 (月)			08/11 (火)			08/12 (水)		
Americas			アメリカ・中古住宅販売件数 07月 [中古住宅販売件数]			アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 07月 [前月比]		
	前	予	前	409万件	予　405万件	前	-0.4%	予　0.2%
	前	予	前		予	前		予
	前	予	前		予	前		予
APAC			豪・中銀政策金利 08月 [豪中銀政策金利]					
	前	予	前	4.35%	予　4.35%	前		予
	前	予	前		予	前		予
EMEA						英国・実質GDP (速報値) 第2四半期 [前期比]		
	前	予	前		予	前	0.6%	予
	前	予	前		予	前		予

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉				
2026/8/4	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	27.1	312.6	1,511.8	857.3
Short	5.1	118.8	609.4	1,276.2
Net	22.0	193.8	902.5	-418.9
Change	1.5	8.0	136.1	72.2

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。